



## 沼倉 瞳隊員の 地域おこし協力隊通信

### 厚田区ウィンターレクフェスタをお手伝いしました

2月15日（日）、厚田区ウィンターレクフェスタが行われ、屋台をお手伝いしました。風が強く、天候が心配でしたが、親子連れやご夫婦など、たくさんの方が訪れました。

スキー回転競技では、小学生から大人の方まで様々な方が参加していました。驚いたのはその上手さ。小学生でも、ゲレンデをスイスイと下りてくるのです。十勝では小学生から中学生までの間、スピードスケートの授業が主流でしたので、私はスキーの経験があまりなく、上手に滑ることができません。ですから、厚田の小学生の慣れた滑りにびっくりしました。

私は主催側のお手伝いで裏方に徹する立場でしたが、どうしても体験したいことがありました。それは、ゲレンデに作られたロング滑り台です。ゲレンデの中央よりも上にあるスタート地点からチューブ

に乗って一気に滑り降りるというものです。スタート前は高さがあって怖かったのですが、乗ってみると爽快で楽しく、子どものころに戻った気分でした。

これほど長い滑り台を作るのは、関係者の方の



大変なご苦労があったと思います。冬のお祭りを盛り上げたいという、みなさんの熱い思いを感じた一日でした。

▲雪のロング滑り台。上から見下ろすと相当な高さです。

### にしんのさばき方を学びました

2月8日（日）に、るるるキッチンガーデンくらぶ主催によるお魚料理教室を見学しました。るるるキッチンガーデンくらぶとは、主に札幌圏の子育て世代の親子を対象に、石狩・札幌の食材や生産者と触れ合いながら、農業体験や料理教室で食を楽しむ会です。この日は、中井漁業部の中井健太さんが講師となり、厚田のニシンとカスベのさばき方を参加者に丁寧に手ほどきしていました。

私も自宅に戻ってから、さっそくニシンのさばき方をおさらいしましたが、骨にたくさんの身が……もう少し練習が必要のようです。



▲中井健太さんがさばいたニシンを刺身で。美味でした！

### 厚田区地域おこし協力隊 活動報告会を開催します

地域おこし協力隊の一年間の活動を厚田のみなさんにお伝えたく、下記のとおり報告会を開催します。

報告会では、小島隊員、沼倉、浜益の協力隊からそれぞれの活動報告と来年度に向けての抱負、厚田・浜益の写真展、創作物の展示のほか、毎月この欄で紹介している厚田特産品のレシピと、浜益カフェ・ガルの新商品の試食会も行います。

多くの方のご参加をお待ちしております。

- 日時：3月21日（土）13時30分～（開場13時）
- 場所：厚田保健センター多目的ホール
- 内容：1. 活動報告と来年度の抱負  
2. 試食会  
3. 展示コーナー（創作物等）  
4. 厚田浜益写真館

ウラ面は小島隊員に続きます！

## 小島 拓也 隊員の 地域おこし協力隊通信



春から秋にかけては催し物が目白押しだったため各地を駆け回る忙しい毎日でしたが、冬になって外出の時間が減りました。その分、今のうちに春に向けてやりたい事の準備をしていかなければいけないと思い、頭の中の整理に取り組んでいます。これはこれで、なかなか大変ですね！

[最近は、こんなことをしました。]



2月17日に「イコロの会」という、石狩市の食と農に関わる皆さんの集まりに参加しました。毎回そこで出される料理は花川の「きずな食堂」の立浪さん（聚富にお住まいです！）が中心になって提供されており、厚田の食材がふんだんに使われています。

写真はそこで提供された料理の一つ「ニンシとカボチャのパイ」です。「魔女の宅急便」という映画にも登場した料理で、食べてみると滑らかな舌触りのカボチャの自然な甘さと、ニンシの旨味とが絶妙でした！小骨が嫌われるニンシですが、この料理は小骨どころか太い中骨もそのまま入っており、しかし骨はほろほろとしていて、骨がある事を一切感じさせないものでした。どうやって作ったのかお聞きしたところ、「ル・クルーゼ」という鍋の中で、油で4時間煮込んだとの事。そしてその作り方に至るまでに、本当に様々な作り方を試したとの事でした。お客様に喜んで頂く為の努力の徹底に脱帽の逸品でした。



2月4日の節分に、厚田保育所で豆まきが行われました。

実は以前、厚田保育所で木曜日に行われている園児と乳幼児をお持ちの親子の交流の場「ペンぎんくらぶ」の見学を申し込んでいました。その際、「それならば、今度の豆まきに来て下さい。」とご提案頂き、とんとん拍子に話が進み、お邪魔する事が出来ました。園児たちは皆怖がるかと思っていたところ、男の子も女の子も結構勇敢に向っていました。鬼たちは大豆の雨あられに晒されながら、窓から外へと逃げ帰りました。厚田の子供たちの元気で頼もしい様子に嬉しくなりました。



1月27日、ニンシの刺し網漁の漁船に乗せて頂きました！まだ暗いうちから出港し、魚群探知機を見ながら厚田の海を北へ南へ、陸側から沖側へと走らせました。

船の揺れに見事に船酔いをして、胸の奥の方から熱いものがこみ上げてきました。

残念ながらこの日、網にかかったニンシは一尾のみでしたが、厚田の海から揚がったばかりのニンシはととても青く透き通っている様に見えました。



### 「いなかっぺ」が厚田に来ました！

前回の通信でお伝えした「いなかっぺ」の皆さんの総勢16名が厚田に1週間滞在しました！「いなかっぺ」の皆さんは田舎で農業や漁業体験をしようという北海道大学の学生さんの集まりです。私もいなかっぺの前代表と現代表の二人とは昨年の春から夏にかけて何度かお会いしていて「厚田に若者呼びたい」と話をしていて、今回来てくれた事はとても嬉しかったです。ウィンターレクフェスタ運営スタッフの皆さんや、厚田小学校や地域の商店の皆さん、そして厚田港の漁師さんとも交流してくれました。彼らの様に厚田に来てくれる若者が増えて、彼らの友達へと厚田の魅力が伝わって欲しいと思いました。

厚田区地域おこし協力隊 小島 拓也

携帯電話：080-6069-5304

E-mail(個人)：ishikarishiatstakukojima@gmail.com

※1号・2号に記載のメールアドレスに誤りがありました。お詫びして訂正致します。

Facebook(フェイスブック)で、

厚田での暮らしを発信しています！

<https://www.facebook.com/kojitaku>

ウラ面は沼倉隊員に続きます！